

地球のワクワク！発見しよう

2024 年度 こどもエコクラブ 事業実施要領



持続可能な地域社会へのプラットフォームとして、
環境学習・環境保全活動を通じて、子どもの

「未来を創る力」を育てます。

地域において環境に関心を持つ人を増やし、

環境保全を促進します。

こどもエコクラブとは

こどもエコクラブは、幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。子どもたちのエコ活動や環境学習を支援することで、身近な自然を大切に思う心と、問題解決のために自ら考えて行動する力を育てます。そうした体験を通して、子どもたちが人と環境の関わりについて理解を深め、地域単位で環境保全活動の環が広がることを目的としています。

こどもエコクラブは、事業開始から29年目を迎え、かつてのメンバーだった子どもたちは今や環境意識を持った未来を創る担い手として地域の環境保全やまちづくりなど持続可能な社会を目指した活動の推進にその力を発揮しはじめています。

私たち全国事務局も、子どもたちに負けない活動を展開してまいります。
なにとぞお力添えのほど、お願い申し上げます。

－目次－

I こどもエコクラブとは	P. 2
II 自治体におけるこどもエコクラブの活用	P. 3
III 自治体によるこどもエコクラブ支援事例	P. 5
IV 地域事務局としてご協力いただきたいこと	P. 6
参考1 こどもエコクラブの運営体制	P.11
参考2 こどもエコクラブ事業のしくみ	P.13

後援：環境省

I こどもエコクラブとは

こどもエコクラブは、幼児から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。子どもたちのエコ活動や環境学習を支援することで、身近な自然を大切に思う心と、問題解決のために自ら考えて行動する力を育みます。また、子どもたちが人と環境の関わりについて理解を深めることで、地域に根ざした環境保全活動の環が広がることを目的としています。

2015年に採択された「国連持続可能な開発目標(SDGs)」への達成にも関わる地域での活動を通して、持続可能な社会づくりの主役となる子どもたちを育てます。

【活動の例】



バッテリーを太陽光パネルで充電し、再生可能エネルギーのチカラを実感



河口の漂着ごみを分別して海洋プラスチック問題を考える



グリーンカーテンで夏の省エネにチャレンジ

◎こどもエコクラブのビジョン（＝理想の未来）

だれでも参加できるこどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつないで、持続可能な地域社会に向けて活動を行っている。

◎こどもエコクラブのミッション（＝なすべきこと）

1. 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもたちの「未来を創る力」を育てる。
2. 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進する。

◎こどもエコクラブの3つの指針

① 「ワクワク！」を応援します。

自然への興味関心をきっかけに、子どもたちの感性と知的好奇心を育みます。自然を理解し守ることが、人間の生活だけでなく地球の未来にとっても必要なことを、感覚を通して学びます。

② 「生きる力」を育みます

エコ活動で感じた疑問や課題に対して、自ら考え、判断し、行動する力を育みます。同時に、仲間たちと一緒に学び、体験を共有することで、人を思いやる豊かな感受性を培います。

③ 「地域を想う心」を育てます

地域をはじめとする身近な自然を大切に想う心を育てます。観察やエコ活動を通して自然環境に触れ、それを支える人々や地域文化を理解することで、自分の住むまちを愛し、主体的に守ろうとする心を養います。

II. 自治体におけるこどもエコクラブの活用

1 環境施策の推進に貢献するこどもエコクラブ

「こどもエコクラブ」事業は、自治体における環境施策の推進に役立ちます。こどもエコクラブ事業を取り入れ、クラブが増えることで、以下のような地域における環境施策の好循環が生まれていきます。

- ・地域の子どもたちへの環境学習・体験活動の機会を提供できる
- ・地域の子どもたちの環境活動への関心度や活動内容を把握できる
- ・環境に関心の深いキーパーソン（クラブのサポーター）とのネットワークが構築・活用できる
- ・環境教育事業の実績および協働取組事例として公開できる
- ・環境教育・環境保全事業を効果的に展開できる
- ・地域住民への環境施策としてアピールできる 等の効果が期待できる

自治体担当者の声（こどもエコクラブ HP「リアルヴォイス」より抜粋）

- ・こどもエコクラブは、人と環境の関わりについて理解を深めるだけでなく、人と人、人と地域を結ぶ重要な役割を持っていると実感しています。
- ・環境について子どものときから関心をもってもらうということはこれから大切になってくるのかなと思います。こどもエコクラブはその機会を提供してくれるしくみですから、できるだけ多くの子どもたちが活動に参加していくよう支援していくことがコーディネーターの仕事だと思いますので、努力していきたいと考えています。
- ・クラブからの活動報告を見ていると子どもたちのパワフルさや楽しさが伝わってきて、こちらもその楽しさや気持ちを共有しているような感じがするときがあります。

2 こどもエコクラブで環境施策(環境教育)の取組を推進

自治体の環境施策にこどもエコクラブを活用している事例を紹介します。

■ 武蔵野市（東京都）

環境学習施設「むさしのエコ re ゾート」の啓発事業の一環としてこどもエコクラブをサポート。

➡登録を検討している方や新規登録のクラブを対象にオリエンテーションを実施。どのように活動すればいいのかを案内する他、環境啓発施設のワークショップ等も紹介して施設利用の活性化にもつなげているのに加え、クラブ同士の交流にも一役買っています。

また、自治体オリジナルのチラシや活動報告に対するスタンプを作成したり、メンバー手帳やバッジを自治体予算で購入、登録クラブに配布したりしてクラブの登録増と子どもたちの環境学習の意欲向上を図っています。



■群馬県

群馬県環境基本計画(2021～2030)内の「持続可能な社会を支える人づくり」の取組の一つとしてこどもエコクラブを明記、事業を展開。

➡子どもたちの意欲向上と活動の活性化を目的として、毎年学習会や交流会を企画・開催しています。開催にあたってはサポーターとコーディネーターとで構成される「企画・運営委員会」を組織し、クラブの活動を支援する双方がコミュニケーションをとることでより良い企画につなげています。

学習会は「おもしろ体験してみ隊」と称して、県内の青少年自然の家を会場に豊かな自然に触れるほか、循環型社会について考えるエコ工作などを通じて子どもたちが伸び伸びと活動する場としています。交流会では県内クラブの一年間の活動成果の発表に加えて、全国エコ活コンクールに向けて制作した壁新聞を展示し、子どもたちの活動発信の場を設けています。他にも、県内サポーター向けの「サポーターズ・ニュース」や年度末の活動事例集の作成を通して子どもたちの活動内容の充実を図り、持続可能な社会を担う人材育成を推進しています。



3 こどもエコクラブ・学校・地域の団体との連携・協働

■鯖江市（福井県）

こどもエコクラブを通じて環境教育に関わる有識者や教育関係者、市民団体等による地域ネットワークを構築。

➡環境教育支援センター「エコネットさばえ」を中心に、鯖江市環境まちづくり委員会や市内 12 小学校の環境教育担当教員、市民団体等による実行委員会を設け、子どもたちの活動を支援するスキームを構築しています。環境教育連絡会を通して学校にクラブ登録と環境活動をまとめた壁新聞づくりを紹介し、例年 2 月の「こどもエコクラブ活動交流会」でそれぞれの学校の壁新聞を一齐に展示しています。また本交流会では地域の市民団体にリサイクル工作や SDGs ゲーム、風呂敷体験など様々なワークショップを実施し、地域の環境団体と学校との橋渡しの場にもしています。こどもエコクラブを通じて地域の環境に関わる様々な主体がつながることで、クラブの面的支援に資するとともに、地域の環境ネットワークの拡大を図っています。



Ⅲ 自治体による子どもエコクラブ支援事例

子どもエコクラブは、多くの自治体において地域に根差した環境教育推進施策として活用されており、各自治体が様々な形でクラブへの支援を行っています。

【自治体による支援の一例(令和5年度)】

(1) 募集記事・ニュースレター・報告書の制作等	
募集記事・紹介記事	岩手県、宮城県、秋田県、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、新潟県、福井県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、鳥取県、島根県、岡山県、福岡県、長崎県、鹿児島県、沖縄県、北海道北見市、岩手県盛岡市、埼玉県川越市・戸田市・白岡市・深谷市、東京都新宿区・杉並区・練馬区・武蔵野市・町田市、神奈川県横浜市・相模原市・平塚市・茅ヶ崎市、長野県松本市、京都府木津川市、大阪府大阪市、福岡県北九州市・大牟田市、熊本県熊本市、鹿児島県鹿児島市
活動報告書の発行・配付	秋田県、茨城県、群馬県、三重県、北海道函館市、埼玉県川越市・越谷市
ニュースレターの発行	岩手県、栃木県、群馬県、福岡県、福井県鯖江市、福岡県北九州市
(2) 講師派遣、物品・助成金等の提供	
クラブへの講師の派遣	岩手県、秋田県、茨城県、東京都、福井県、京都府、奈良県、高知県、福岡県、佐賀県、沖縄県、東京都練馬区、京都府木津川市
クラブへの物品提供 (バンダナ・帽子などのオリジナルグッズや壁新聞制作用の模造紙等。地元企業等との連携含む)	秋田県、宮城県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、岩手県遠野市、栃木県真岡市、千葉県市川市、兵庫県神戸市
クラブへの助成金 (地元企業等との連携含む)	秋田県、栃木県、埼玉県、福井県、長野県、滋賀県、鳥取県、佐賀県、福井県永平寺町、静岡県藤枝市、鳥取県北栄町、山口県山口市
(3) イベント・展示会・交流会	
環境イベントの開催 (子どもエコクラブのみ対象)	岩手県、群馬県、大阪府、北海道札幌市、埼玉県川越市、福井県鯖江市、岐阜県岐阜市、静岡県富士市
環境イベントの開催 (一般も参加可能)	群馬県、埼玉県、三重県、滋賀県、長崎県、北海道札幌市、群馬県高崎市・渋川市・安中市・邑楽町・伊勢崎市・太田市・桐生市、東京都武蔵野市、滋賀県草津市、大阪府高槻市、奈良県斑鳩町、高知県香美市、福岡県春日市
壁新聞・絵日記展示会の開催	秋田県、島根県、福岡県、福井県鯖江市、岐阜県岐阜市、滋賀県草津市、兵庫県神戸市
交流会・活動発表会の開催 (単独イベントまたは環境イベント内の一プログラムとして)	岩手県、群馬県、三重県、大阪府、北海道札幌市、埼玉県川越市、福井県鯖江市、岐阜県岐阜市、滋賀県草津市
サポーター交流会の開催	群馬県
(4) クラブの結成	
クラブの設立・運営 (自治体においてクラブを結成、メンバーを募集し環境活動を実施)	北海道札幌市・北見市、宮城県南三陸町、福島県福島市・会津若松市、茨城県龍崎市、栃木県宇都宮市、群馬県前橋市、埼玉県坂戸市、千葉県市川市・習志野市、東京都中央区・新宿区・荒川区・板橋区・調布市、神奈川県相模原市・鎌倉市、長野県岡谷市・飯田市、静岡県富士市・藤枝市、愛知県豊田市、三重県志摩市、滋賀県大津市、京都府木津川市、兵庫県たつの市、鳥取県米子市
連絡会の結成 (クラブ支援者である大人との情報共有)	群馬県、福岡県、青森県弘前市、静岡県富士市、福井県鯖江市、京都府木津川市

※自治体による支援事例の一覧は、ウェブサイトに掲載しています。ご支援をくださった自治体の方は、全国事務局まで情報をお寄せください。

※類似のお取組をご検討の際は、全国事務局までお気軽にお問合せください。

IV 地域事務局としてご協力いただきたいこと

1 地域事務局から地域の方やクラブへの働きかけ

本事業をご理解いただき、地域事務局としてご登録くださった自治体におかれましては、下記の事項についてご協力をお願いいたします。

(1) 広報・登録勧誘

① クラブ・メンバーを増やす

子どもエコクラブは、誰でもいつでもどんな形でも登録することが可能です。地域で環境保全活動を積極的に行うこともエコクラブを増やしていくことで、自治体内で環境に関心が高い人や、実際に行動している人を可視化することができます。全国事務局は、地域事務局に広報用のポスター・チラシ(様式4)を提供します。配布の際は、環境イベント等で広く大量に配布するよりも、ターゲットを絞り事業の趣旨説明をあわせて行うと効果的です。たとえば、幼稚園・保育園、小学校には、園長会、校長会などでご紹介いただく他、体験イベント参加者には終了時に、環境 NPO には連絡会等の場で、人材養成講座受講者には実践の機会として子どもエコクラブをご紹介いただくと一層効果がアップします。令和 3 年 6 月 2 日に文部科学省・環境省連名で各都道府県知事や教育委員会教育長等に発出された「気候変動問題をはじめとした地球環境問題に関する教育の充実について(通知)」を適宜活用して教育委員会や学校にご紹介いただくのも一つの方策です。

② 認知度を高める

環境イベント・庁舎ロビーで子どもエコクラブの壁新聞や写真(フォトコンテストでの受賞作品やクラブの活動写真等)をぜひご展示ください。クラブの手作りの作品や子どもたちの生き生きとした表情の写真は地域の方や多くの方の注目を集めます。パネルやエコまる(子どもエコクラブのイメージキャラクター)着ぐるみをご利用いただくことも可能です。

自治体のウェブサイトでも子どもエコクラブ募集記事や地元のクラブの活動の様子などもぜひ掲載ください。全国事務局のウェブサイトとのリンクもお願いします。

ウェブサイトはもちろん、市報などの広報紙にも活用できるイメージキャラクターのイラストを多数用意しています。全国事務局までお問合せください。



(2) クラブとのコミュニケーション

① 子どもエコクラブは、自治体の環境施策の応援団!!

子どもエコクラブには環境への関心が高い人たちが多く登録しています。自治体の環境施策に関する情報やイベント情報を積極的に提供いただき、参加の勧誘をお願いします。イベントへの参加者数増にもつながりますし、クラブの活動の充実にもなります。なお、クラブから日々投稿される活動レポートで自治体主催イベントの報告は貴ウェブサイトにも掲載いただけます。クラブの活動はもちろん貴自治体の施策も全国にアピールすることができます。

② 地域事務局は一番身近なクラブの応援団!!

地域事務局は、クラブにとって誰よりも身近で心強い応援団です。こまめに連絡をとり、クラブの活動状況を把握してい

ただくとともに、ウェブサイトに掲載された活動レポート・壁新聞への応援コメント・拍手をお願いします。地域事務局が支えることで、クラブの活動がしっかりと地域に根づいていきます。

前述を含め、都道府県、市区町村にご協力いただきたい事項をそれぞれ表1, 2にまとめましたので、ご確認ください。

表1 都道府県 : (都道府県事務局と称します)

	必ず行っていただきたいこと	可能な範囲でご協力いただきたいこと
① 事業全般	・管下市区町村への地域事務局登録の呼びかけ	・環境教育等促進法に基づく協働取組として事業を位置づけ ・地方自治体の環境教育施策の中に位置づけ（環境基本計画、環境教育等促進法に基づく行動計画等） ・全国事務局に対し協働事業の提案
② 広報	・ポスター、パンフレット等を施設・団体に掲出・配布及び登録の呼びかけ ・イメージキャラクター「エコまる」の積極的な露出・活用 ・ウェブサイトの相互リンク	・独自の媒体(広報紙、ウェブサイト、SNS 等)、イベント等を活用して広報 ・メディア等と連携して広報
③ 資金調達・資金提供	・地元企業・団体等への支援の呼びかけ	・地域活動に必要な予算措置、資金調達等 ・クラブの活動に対して資金的支援（助成金等）
④ 登録	(市区町村事務局がない場合) ・個別クラブの登録用紙を受け付け、全国事務局に送付	
⑤ 情報提供	・メール、郵送等にて所管エリア内のクラブに環境教育関連の情報を提供（地域の環境イベント、コンクール等）	・独自のニュースレター発行
⑥ 活動報告	(市区町村事務局がない場合) ・クラブから諸様式によって提出された活動報告を全国事務局に送信 ・全国事務局から届く管下クラブの活動報告連絡を受け、ウェブサイトで活動の様子を確認	・活動を報告したクラブとのコミュニケーション(褒める、励ます)
⑦ 継続インセンティブ	・登録情報変更の呼びかけ	・地域版の事業実施報告書/活動レポート集作成・配布 ・地域独自のグッズ作成・配布
⑧ 顕彰	・壁新聞・絵日記・デジタル作品の作成の呼びかけ ・上記作品を集約（選考）し、全国事務局に送付	・壁新聞・絵日記の掲示 ・独自の顕彰制度創設 ・エコ活コンクール自治体代表クラブの首長表敬訪問
⑨ 交流会等		・独自の交流会・イベント開催 ・ 全国事務局と連携・協力して交流会・イベントの企画・運営（全国事務局にご相談ください） ・全国フェスティバルへの参加
⑩ サポーター研修会		・ 全国事務局、市区町村等と連携・協力してサポーター研修会を開催（全国事務局にご相談ください）
⑪ コーディネーター研修会		・ 全国事務局と連携・協力して市区町村のコーディネーター研修会を開催（全国事務局にご相談ください）

表2 市区町村：（市区町村事務局と称します）

	必ず行っていただきたいこと	可能な範囲でご協力いただきたいこと
① 事業全般		<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育等促進法に基づく協働取組として事業を位置づけ ・地方自治体の環境教育施策の中に位置づけ（環境基本計画、環境教育等促進法に基づく行動計画等） ・全国事務局に対し協働事業の提案
② 広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、パンフレット等を施設・団体に掲出・配布及び登録の呼びかけ ・イメージキャラクター「エコまる」の積極的な露出・活用 ・ウェブサイトの相互リンク 	<ul style="list-style-type: none"> ・独自の媒体(広報紙、ウェブサイト、SNS 等)、イベント等を活用して広報 ・メディア等と連携して広報
③ 資金調達・資金提供	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業・団体等への支援の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に必要な予算措置、資金調達等 ・クラブの活動に対して資金的支援（助成金等）
④ 登録	<ul style="list-style-type: none"> ・個別クラブの登録用紙を受け付け、全国事務局に送付 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ設立及び設立の支援
⑤ ツール		<ul style="list-style-type: none"> ・全国事務局からクラブ宛の資料を受け取り、クラブへ送付 ・全国事務局が年度当初に送付するメンバーズバッジを新規メンバーへ配布
⑥ 情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・メール、郵送等にて所管エリア内のクラブに環境教育関連の情報を提供（地域の環境イベント、コンクール等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・独自のニュースレター発行
⑦ 活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブから諸様式によって提出された活動報告に対して「アーススタンプ」を押印して返却 ・都道府県事務局・全国事務局に活動報告を送信 ・全国事務局から届く管下クラブの活動報告連絡を受け、ウェブサイトで活動の様子を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を報告したクラブとのコミュニケーション(褒める、励ます)
⑧ 継続インセンティブ	<ul style="list-style-type: none"> ・登録情報変更の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域版の事業実施報告書/活動レポート集作成・配布 ・地域独自のグッズ作成・配布
⑨ 顕彰	<ul style="list-style-type: none"> ・壁新聞・絵日記の作成を呼びかけ ・壁新聞・絵日記を集約（選考）し、都道府県事務局に送付 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁新聞の掲示 ・独自の顕彰制度創設 ・エコ活コンクール自治体代表クラブの首長表敬訪問
⑩ 交流会等		<ul style="list-style-type: none"> ・独自の交流会・イベント開催 ・全国事務局、都道府県と連携・協力して交流会・イベントの企画・運営（全国事務局にご相談ください。） ・全国フェスティバルへの参加
⑪ サポーター研修会		<ul style="list-style-type: none"> ・全国事務局、都道府県等と連携・協力してサポーターの研修会を開催（全国事務局にご相談ください。）

※地域事務局として既にご登録をいただいている自治体は継続登録となっているため、年度ごとのご登録は必要ありません。ご担当者やご協力内容の変更等がありましたら、**様式1**にてお知らせください。

※ご登録を抹消したい場合には、全国事務局あてに文書にてご通知ください。



2 全国事務局から地域事務局へのサポート

(1) 関連情報やプログラムの提供

地域事務局としてご登録いただいた自治体には、全国事務局より関連情報等をはじめ、クラブの活動に役立つプログラムやツールを提供いたします。

① コーディネーターメール・マガジン

登録クラブの情報をはじめ、環境教育に関する情報や他自治体のユニークな取組事例の紹介や連携事例等を、全国事務局から、月初に配信いたします。なお、当該メールマガジンで前月末の全国の登録状況を共有いたします。

【登録先】[子どもエコクラブ全国事務局：j-ecoclub@jeas.or.jp](mailto:j-ecoclub@jeas.or.jp)

【登録方法】上記アドレスまで、タイトルを「子どもエコクラブメールマガジン登録」とし、本文に自治体名を明記の上、メールを送信してください。※複数のアドレスに送信を希望する際には、配信希望のアドレスを全て掲載してください。

② 管下のクラブ情報の提供

ご要望に応じて、登録数・連絡先（代表サポーター名・住所・TEL等）・活動レポート等を適宜お送りします。管下の環境イベント等の広報等呼びかけにご活用ください。

③ 広報ツール（壁新聞・絵日記、着ぐるみ・旗、ポスター・パンフレット、活動レポートフォトコンテスト受賞作品）の貸出・提供。（様式2・3参照）

④ イメージキャラクター（エコまる）の画像データの提供

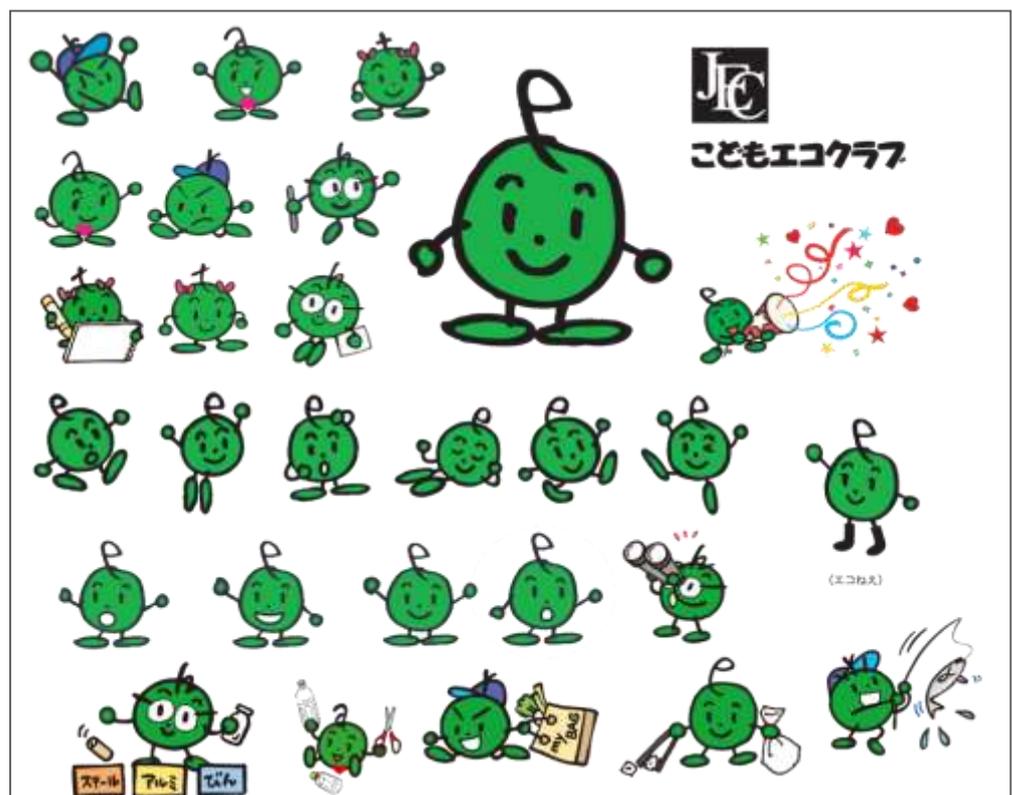
地域事務局の制作物やウェブサイトで、使用可能です。（様式5参照）

⑤ イベント情報のウェブサイト掲載 貴自治体のイベント情報を全国に発信できます（希望に応じて）。

⑥ 自治体名のウェブサイト掲載。

【イメージキャラクター（エコまる）の画像（例）】

季節や活動にあわせた画像をご活用ください。



(2) こどもエコクラブ協働プログラム

こどもエコクラブを活用した環境活動を促進するために全国事務局が地域事務局に伴走して活動します。例えば、交流会・研修会等イベントの企画・運営、講師派遣や(3)のコーディネーター説明会を管下の市町村を対象に実施する場合など、全国事務局までお気軽にご相談ください(全国で3ヶ所程度)。

(3) コーディネーター説明会

事業の趣旨や地域事務局にご協力をお願いしたい内容、こどもエコクラブの仕組みを活用した環境教育・環境活動促進施策について説明するとともに、自治体と連携することで大きな成果を挙げているクラブの事例等を紹介する説明会をオンラインで開催します(5~6月頃を予定。日程は別途ご案内)。ぜひご参加ください。

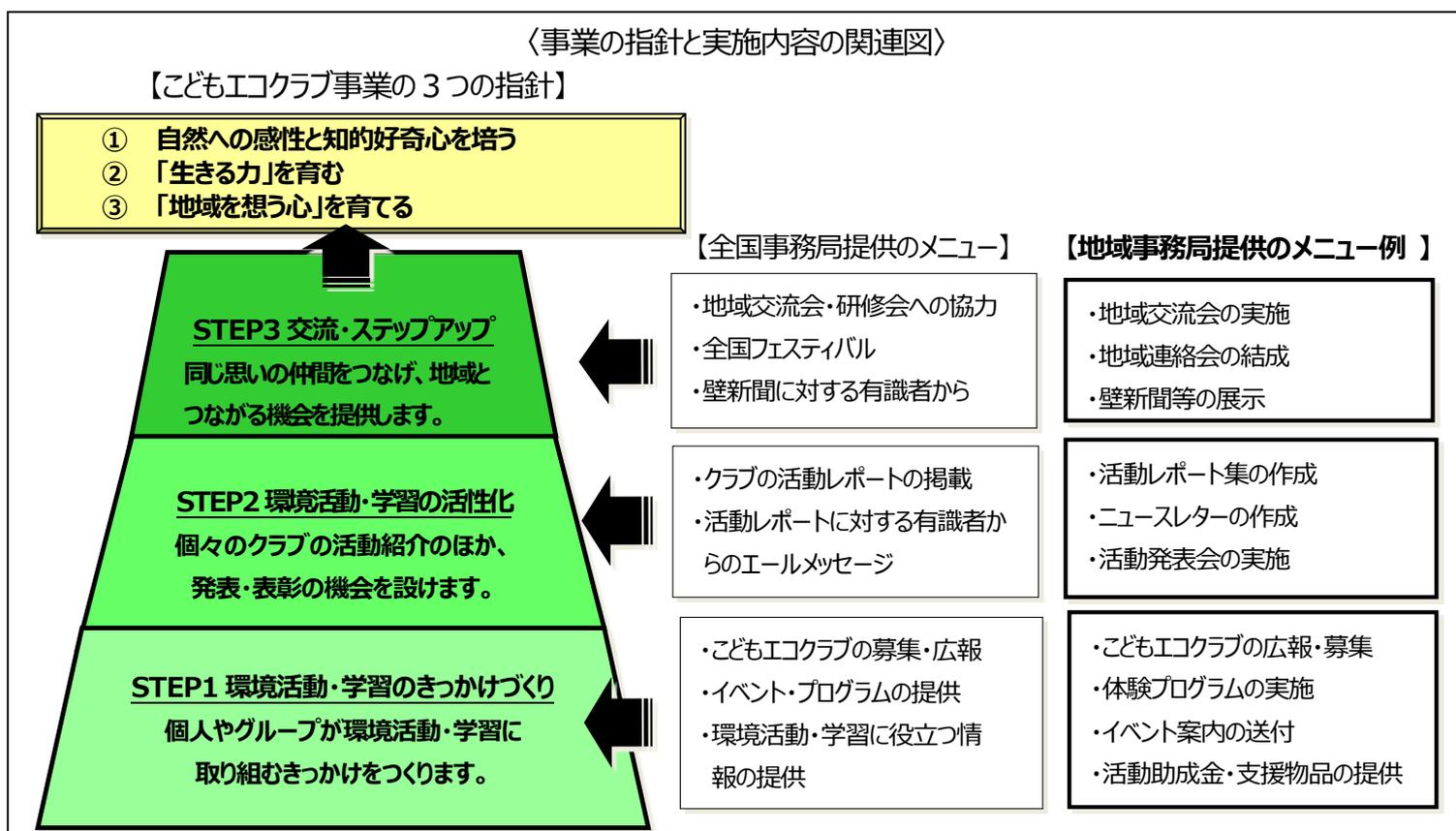
3 こどもエコクラブの特典(参考)

こどもエコクラブに登録すると下記の特典があります。ぜひ管内のクラブでの情報共有をお願いします。

- ①活動に役立つプログラムや環境イベント情報などをメールでお届けします。
- ②メンバーの証「メンバーズバッジ」がもらえます！
(年度当初に全国事務局が送るバッジを自治体にて配布いただけるクラブのみ)
- ③活動を報告すると、環境に詳しい専門家からエールメッセージが届きます。
- ④活動をまとめた壁新聞・絵日記・デジタル作品を作ると、全国フェスティバルに参加できるチャンスが！
- ⑤賠償責任保険に自動加入されます！



地域事務局によるご協力の具体的なメニューを、こどもエコクラブ事業の指針に関連付けて整理すると、以下のようになります。皆様方と手を携えて子どもたちの環境活動をサポートしてまいりたいと考えております。子どもたちの環境活動がより活発になるよう、ご支援・ご協力いただきますようお願いいたします。



参考1 こどもエコクラブの運営体制

本事業は「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」に基づいた「公益財団法人日本環境協会」（全国事務局）、「地方自治体」（地域事務局）、「企業・団体」（事業支援）との産官民による協働取組として位置付けられ、環境省の後援のもと実施されています。また公益財団法人日本環境協会は、同法に基づく環境教育等支援団体の指定を受けています。

（1）こどもエコクラブ全国事務局の役割

公益財団法人日本環境協会内に「こどもエコクラブ全国事務局」を置き、同事務局において、各クラブの登録管理、活動プログラム等の企画・提供、各種交流等、下記の業務を行います。

- ① クラブの登録受付および情報管理
- ② 教材等の作成、クラブへの送付
- ③ こどもエコクラブウェブサイト・SNS の運営
- ④ 活動レポートの受付、有識者からのコメントの送付、アーススタンプの付与
- ⑤ 広報ツールの貸し出し等、その他クラブの活動支援に係る業務（資料2参照）
- ⑥ クラブの活動を発表する機会（こどもエコクラブ交流会等）の提供
- ⑦ 本事業運営にかかる資金調達のための協賛企業・団体への依頼・対応等
- ⑧ こどもエコクラブ説明会・研修会（全国・地域）の実施
- ⑨ その他、子どもたちへの活動支援となる業務

（2）地域事務局の役割

全国事務局と連携しつつ、事業の広報や地域のクラブへの支援にご協力をいただきます。具体的な協力内容は、「IV 地域事務局としてご協力いただきたいこと」(P.6-8)のとおりです。

本事業にご賛同いただき、こどもエコクラブ地域事務局として登録された各都道府県及び市区町村のご担当者を「コーディネーター」と称します。全国事務局は、コーディネーターと情報を共有し、クラブ情報等を適切に管理します。

（3）アドバイザー・ボード

環境教育に関する有識者及び環境省・文部科学省、地方公共団体の環境教育担当者、企業担当者及び有識者等によって構成され、こどもエコクラブ事業の運営に関する指導・助言を行います。《委員長：こども環境学会 理事 小澤 紀美子氏》

（4）ステークホルダー・ミーティング

省庁、関係企業・団体、自治体、教育関係者等により構成され、様々な立場からこどもエコクラブと他の主体との協働取組等への助言をいただくほか、相互の情報交流を図ります。

（5）パートナー会員

こどもエコクラブ事業に賛同し、子どもたちの環境保全活動を継続的に支援する企業・団体です。単発でのご支援・ご寄附も随時受け付けています。

（6）All Japan Youth Eco-club

こどもエコクラブのOB・OGを中心とした若い世代のネットワークです。メンバーの子どもたちと年齢が近く、経験豊富な若い人材が、様々な形でクラブの活動を応援します。

参考2 こどもエコクラブ事業のしくみ

1 事業の目的

こどもエコクラブは、幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。子どもたちのエコ活動や環境学習を支援することで、身近な自然を大切に思う心と、問題解決のために自ら考えて行動する力を育みます。また、子どもたちが人と環境の関わりについて理解を深めることで、地域に根ざした環境保全活動の環が広がることを目的としています。

2 基本の活動

(1) 各クラブの自主的な活動（「エコロジカルあくしょん」といいます。）

それぞれのクラブのメンバー（子ども）の興味・関心に基づき、自らの活動内容（地球温暖化防止に関する活動、水生生物調査、自然観察、リサイクル活動等）を決めて自主的に取り組む活動です。

(2) 全国のクラブの共通的活动（「エコロジカルとれーにんぐ」といいます。）

全国事務局がウェブサイト等を通じて提供している誰でも簡単に取り組める共通的学习活動です。

(3) 指導者向けプログラム（「エコスタディ」といいます。）

コーディネーター・サポーターに対して、誰でも簡単に子どもたちと環境教育・環境学習が行えるプログラムをウェブサイト上で提供しています。

(4) 活動レポート

クラブは、上記（1）（2）で掲げた活動の報告を少なくとも年1回、全国事務局まで提出してください。なお、報告は各クラブ（サポーター）がウェブサイト上の所定の「活動レポートフォーム」からの入力を推奨しています。1つの活動レポートにつきアーススタンプ（後述4（6））が1つ付与されます。また、クラブの活動レポートは、全国事務局より当該自治体のコーディネーターにも共有されます。

※所定の用紙（ウェブサイトよりダウンロードできます）を印刷してご記入いただいても構いません。

※クラブより自治体宛に活動レポートが届いた場合には、随時全国事務局にご転送ください。

3 クラブの登録等

(1) クラブの構成

幼児(3歳)から高校生までの子ども(メンバー)1名以上と、活動を支える大人(サポーター)でクラブをつくり登録します（登録料や会費は無料）。家族や地域、幼稚園・保育所、学校（クラス、学年、全校など）、児童館・放課後クラブの仲間、企業・団体など、自由な形態で登録することができます。

(2) クラブの名称

それぞれのクラブは、自由に名称を付けることができます。

(3) サポーター

各クラブには、それぞれのクラブの活動を支援する「サポーター」（大人、各クラブ1人以上）が必要です（高校生や大学生もサポーターとして登録できますが、代表サポーターは成人の方に限ります）。子どもたちの活動へのアドバイス、仲間づくりの手助け、地域事務局や全国事務局等との連絡など、必要に応じて支援を行う役割を担います。

(4) クラブの登録

登録は年間を通じていつでも行うことができます。参加を希望するクラブは、ウェブサイト上の「新規登録フォーム」あるいは所定の「登録用紙」（ウェブサイトからダウンロード可能）にて、必要事項を全国事務局に登録します。なお、全国事務局はクラブの登録情報を、環境保全行政推進の目的に使用する場合に限り地域事務局に提供します。同時に、全国事務局及び地域事務局は、登録クラブ情報を厳重に管理します。

(5) クラブ登録情報の変更

以下の登録情報に変更があった場合には、登録時に生成されるクラブページ内「クラブ情報編集」から送信するか、所定の「変更・解散届」（ウェブサイトからダウンロード可能）に必要事項を記入して、全国事務局に届け出るものとします。

- ① クラブの名称
- ② メンバー・サポーターの人数と内訳
- ③ 代表サポーターの氏名・連絡先
- ④ 支援ツール（4にて後述）の希望の有無
- ⑤ その他子どもエコクラブ全国事務局が必要と認める事項

(6) クラブの継続

クラブから解散の届け出がない限り、自動継続となります。登録メンバーの人数や学年内訳など登録情報に変更があった場合は、ウェブサイト上クラブページ内「クラブ情報編集」から送信するか、所定の「継続届」（ウェブサイトからダウンロード可能）を提出いただきます。登録情報の変更は年内いつでも可能ですが、適宜管内のクラブへのお呼びかけをお願いします。継続クラブの情報は上記3（4）同様、全国事務局より地域事務局に提供します。

(7) クラブの解散

クラブを解散する場合には、所定の「変更・解散届」（ウェブサイトからダウンロード可能）に必要事項を記入して全国事務局に送信してください。

※クラブから地域事務局宛に(4)～(7)の届出があった場合には、随時全国事務局に転送していただきますようお願いいたします。

(8) 活動時の賠償責任

子どもエコクラブの活動中にメンバーまたはサポーターの過失によって第三者に損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合を対象とした賠償責任保険（資料1参照）に、全国事務局にて保険料を負担し自動的に加入されます。保険適用者は登録したメンバー及びサポーターのみ、加入日は、継続クラブは4月1日から、新規登録クラブは全国事務局あるいは地域事務局がクラブから登録用紙を受理した日（早い日付有効）となります。

4 支援ツール等

登録したメンバーや代表サポーターには、次のような支援を行います。

(1) メンバースタンプ(実費頒布)

「メンバースタンプ」を、希望するクラブのメンバーおよび継続クラブのメンバーに実費頒布いたします（送料込 1 個 100 円）。活動の動機づけや、メンバーの仲間意識を高めるときに役立ちます。なお、地域事務局にてクラブに配布いただける場合は、全国事務局より年度当初に年間の想定メンバー数分を地域事務局に無料で送付いたします。

【メンバースタンプ】

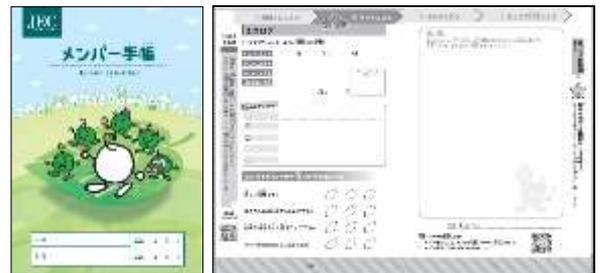


(イメージ)

(2) メンバー手帳 (実費頒布)

こどもエコクラブとしての活動を子ども自身が記録し、やる気と継続性を生み出す助けとなる手帳を購入することができます（送料込 1 部 100 円）。手帳を活用することで、課題の発見→計画→実践→ふりかえりというサイクルを促進し、活動のステップアップにつながります。活動レポートにより付与されるアーススタンプ（4（6）参照）を集めるシートとしても活用できます。

【メンバー手帳】



(3) ぼくの／わたしのエコカード(無料)

子どもたちに身につけてもらいたいエコな習慣や行動を紹介したカードを、希望する未就学児のメンバーに送付します。チャレンジできたら色を塗っていくことで、楽しみながら環境に配慮した行動を実践することができます。ウェブサイトからもダウンロードできます。

【ぼくの／わたしのエコカード】



(4) 応援マニュアル(PDF 送付／冊子は実費頒布)

活動のヒントや心得、こどもエコクラブの理念などを記載したサポーター必携の冊子です。新規登録クラブの代表サポーターに PDF をメールでお送りします。ウェブサイトからもダウンロードできます。冊子をご希望の場合は実費（送料込 1 部 100 円）でご購入いただけます。

【応援マニュアル】



(5) クラブの活動レポートに対するエールメッセージ

クラブから全国事務局ウェブサイトを通じて提出された活動レポートや応募のあった壁新聞に対し、活動の発展・充実に役立つこどもエコクラブ応援団（環境カウンセラー等の有識者）からの応援メッセージを、ウェブ上に掲載します。

(6) アーススタンプ

ウェブサイトを通じて活動レポートを提出したクラブに対し、1 回の報告につき 1 つの「アーススタンプ」を付与します。活動レポートに対して全国事務局より送信するスタンプを各クラブにてダウンロードし、サポーターから各メンバーにコピーして配布いただきます。

【アーススタンプ】



(7) アースレンジャー認定証

【アースレンジャー認定証】

年間5回以上活動したクラブには「アースレンジャー認定証」をお送りします。
希望するクラブは、所定の「申請用紙」（ウェブサイトでダウンロード可能）に
必要事項を記入の上、全国事務局に申請を行います。

また、3年間活動して「アースレンジャー認定証」を取得すると銀バッジを、
6年間活動すると金バッジをお送りします。



(8) こどもエコクラブウェブサイト (<https://www.j-ecoclub.jp/>)

全国のこどもエコクラブの活動を紹介する「活動レポート～みんなのエコロジカルあくしょん～」の他、クラブの活動に
役立つ情報やイベント案内、企業・団体からの情報を随時掲載いたします。

★主なコンテンツ

① お知らせ

各地域事務局や全国事務局が開催するイベント等の情報、
クラブが申請できる助成金の情報などを掲載します。
掲載を希望する環境イベント等がございましたら、ぜひ情報
をお寄せください。

② 壁新聞道場

全国から届いた壁新聞に対して、師範（有識者）からの「ゴ
シドウ」（コメント）を掲載します。

③ リアルヴォイス

全国のクラブの様子のほか、先輩へのインタビューやクラブの
名前の由来などの特集記事を掲載します。（不定期更新）

④ ユース TOPICS

All Japan Youth Eco-club（こどもエコクラブ OB・OG）
の活動を掲載します。（不定期更新）

⑤ Let's チャレンジ

クラブや学校で取り組むことができるプログラムや、こどもエコ
クラブに協賛いただいている企業・団体・自治体が提供する「ア
シストプログラム」を紹介しています。

【こどもエコクラブウェブサイト】

⑤



(9) サポーターメール・マガジン、コーディネーターメール・マガジンおよび企業団体・関係者メール・マガジン

全国のイベント情報・環境教育に関する情報や他クラブの事例紹介等を、配信を希望するサポーターおよびコー
ディネーターに対して全国事務局から電子メールで配信いたします（サポーター：月2回程度 コーディネーター：月
1回程度）。

また、こどもエコクラブに賛同、支援をしてくださる企業団体や、こどもエコクラブ事業および環境教育に関心のある
方々に対しても上記情報を電子メールで配信します（月1回程度）。

5 こどもエコクラブ メインアクティビティ

(1) 全国・地域交流会の開催

全国で展開されているこどもエコクラブのさまざまな活動を紹介し、子どもたちの交流・学習の場として「全国フェスティバル」を開催します。

(開催日(予定) : 2025年3月23日(日)、

会場(予定) : 大阪府庁咲洲庁舎 咲洲ホール)

なお、新型コロナウイルスの感染状況等、その時期の社会情勢によってオンラインでの実施等、適宜変更することがあります。

また、地域事務局等の主催により各地で「地域交流会」(予定: 群馬、埼玉、三重、滋賀など)が行われます。



(2) 「全国エコ活コンクール」壁新聞・絵日記・デジタル作品の募集 (10月頃募集開始、1月締切)

こどもエコクラブをはじめ、全国で環境活動をしている子どもの団体を対象に、日頃の活動をまとめた「壁新聞」「絵日記」「デジタル作品」を、以下①～③を目的に募集します。壁新聞部門には環境大臣賞・文部科学大臣賞等の特別賞を、絵日記部門・デジタル部門には優秀賞を設けています。

① 子どもたちが日頃のエコ活動をまとめることによって、活動を通して感じたことなどをふりかえる機会や新しい気づきを得るきっかけとすること。

② 子どもたちの創意・工夫にあふれる壁新聞や絵日記を顕彰したり、全国各地で展示したりすることによって、活動意欲の向上や心豊かな成長を育むとともに、地域を巻き込みながら環境活動の輪を広げていくこと。

③ 子どもたちの活動に対して有識者からアドバイスをを行い、活動の充実・発展を促進すること。

【壁新聞部門】日頃の活動をまとめた壁新聞 ※クラブ(団体)単位で制作。

【絵日記部門】この1年で一番印象に残った活動、みんなに一番伝えたい活動などをかいた絵日記

※個人単位で制作

【デジタル部門】日頃の活動をまとめた動画やパワーポイント等のスライドショー ※クラブ(団体)単位で制作。

(3) 全国一斉活動

全国のこどもエコクラブが同じテーマで活動する一斉活動です。毎年全国事務局にてテーマとプログラムを提供し、希望するクラブが自由に取組めます。同じテーマで活動することで、全国の仲間との一体感を高め、達成感・充実感を共有するとともに、こどもエコクラブの元気な活動を広くアピールして事業の広報につなげます。自治体の子ども向け環境プログラムとして本プログラムに参加、活用することも可能です。



【2023年度全国一斉活動「みんなで Bosai×Eco CAMP」活動の様子】

(4) 活動フォトコンテスト

クラブからの活動レポートの投稿促進を目的に、ウェブサイトを活用した活動フォトコンテストを開催し、表彰します。



【活動フォトコンテスト 2023年度 入賞作品】

6 こどもエコクラブ事業の運営費の調達等

こどもエコクラブ事業は企業・団体や個人のみなさまからの会費・寄附により運営されています。趣旨に賛同し、こどもエコクラブの活動がより活性化することを目的に個人や企業・団体から会費・寄附等を募っています。貴自治体におかれましても、寄附活動の周知、呼びかけ等にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(1) 個人や企業・団体から会費・寄附等の募集

① パートナーの募集

企業・団体を対象にパートナー会員を募っています。併せて、企業・団体の活動と子どもたちの活動の双方が充実するようさまざまな連携を図ります。

② 寄附の募集

個人及び企業・団体等を対象に、様々な形での寄附を募っています(郵便振替・銀行振込、クレジットカード、携帯電話料金とあわせてのご寄附など。詳しくはウェブサイトをご覧ください)。

③ 書き損じハガキの募集

年賀状や暑中見舞いなどで間違えたり余ったりしたハガキ(未投函)を募っています。

④ リサイクル募金「きしゃぼん」

不要になった本や DVD を換金して寄附していただく新しいタイプの募金活動です。環境保全にも貢献する内容となっています。チラシがございますので、広報にご協力いただける場合は全国事務局まで必要部数をお知らせください。

⑤ Vポイント(旧名称:Tポイント)※

全国にあるVポイント提携先やインターネットの提携先で、ご利用金額に応じて貯めたり使ったりすることができる共通ポイント「Vポイント」をご寄附いただけます。※2024年4月22日よりVポイントに統合

⑥ 「メルカリ寄付」

メルカリに出品して得た商品の売上金を、メルペイ残高を通じて寄付する機能「メルカリ寄付」を通じてご寄附いただけます。

未来を担う子どもたちのために、
一緒にがんばりましょう!!



《こどもエコクラブを応援してくださっている企業・団体》

アース製薬	3R 活動推進フォーラム
アクサ損害保険	積水化学工業
朝日テクノ	全国牛乳容器環境協議会
アポクリート	ターナー色彩
アマノ	タカラトミー
アルバルク東京	宝ホールディングス
アントレックス	鉄建建設
イオンファンタジー	東京国際フォーラム
イオン 1%クラブ	東和興産
出光興産	トヨタ自動車
INNER ENERGY TECHNOLOGY	奈良健康ランド 奈良プラザホテル
SG ホールディングスグループ (佐川急便)	ノーリツ
エネラボ	日本 CCS 調査
エフピコ	日本 WPA
塩ビ工業・環境協会	日本容器包装リサイクル協会
尾上萬	Pacific Life Re International
加山興業	長谷工コーポレーション
教育出版	バンダイナムコホールディングス
共立理化学研究所	日の丸リムジン
キリン	フォレストパックス
熊本銀行	福岡銀行
グリーンクロスジャパン	ふくろうのはね
ケニス	ブリヂストン
こくみん共済 coop 〈全労済〉	プロントコーポレーション
国民みらい出版	文化シャッター
コンタクトのアイシティ	マインズ農業協同組合
嵯峨野	マツキヨココカラ&カンパニー
さくら薬局グループ クラフト	ミールケア
産業環境管理協会	三井住友海上火災保険
CCCM ホールディングス	三菱地所レジデンス
ジーエス・ユアサ バッテリー	三菱電機
JTB	メルカリ
JBRC	山田養蜂場
ジャパンビバレッジエコロジー(リサイクル・プラザ JB)	リード
住商フーズ	リトルスタジオインク
住友生命保険	龍角散

(2024年 3月末現在)